

看護師発。暮らしと医療を繋ぐ病院広報誌

ご自由にお持ちください

西尾市民病院

NISHIO MUNICIPAL HOSPITAL



新しい
病院広報誌が
できたよ！

4月号
2020 No.01



私たち看護師が
ご案内します！

中日新聞「リンクト」
LINKED
plus
病院を
知ろう

SPECIAL REPORT

早期に発見できれば
乳がんは治る病気。

乳腺外科特集

CONTENTS

- ① Cure 病気のおはなし
- ② Care 療養支援のおはなし
- ③ 地域医療を支える新しい力
- ④ 地域医療の豆知識
- ⑤ NEWS & TOPICS

Message

院長メッセージ

病院広報誌「Ciao／チャオ」を発行することとなりました。「Ciao／チャオ」という名前はイタリア語で「こんにちは、やあ」といった意味の親しい間柄で使われる挨拶。そこに西尾市の名産・抹茶の「チャ」という言葉も含めています。これから西尾の抹茶同様に広く皆さまから愛し、親しまれる広報活動をめざします。ご期待ください。

SPECIAL REPORT

早期に発見できれば 乳がんは治る病気。

乳腺外科特集

最新の3Dマンモグラフィを導入し、
乳がんの早期発見・早期治療に力を注ぐ。

CHAPTER 01

手術、放射線、薬物療法を 組み合わせて総合的に治療。

「頑張りましたね。早く見つかって、本当に良かった」。この日、西尾市民病院で乳がんの手術を終えて退院する女性に、乳腺外科医の和田応樹副院長は心から労いの言葉をかけた。

この女性は1カ月前ほど前に、同院で乳がん検診を受けた。エコー検査でははっきり見えなかったが、3Dマンモグラフィ（乳房X線）撮影で右側の乳房に、粒状の白い影（石灰化）を発見。組織の検査で、乳がんであることが判明した。女性は迷うことなく手術に同意し、右側の乳房部分切除術を実施することになった。乳がんのこわいところは、がんがリンパ管や血管へ入って全身をめぐり、他の臓器などへ転移することだ。そこで、リンパ節転移がある場合、リンパ節を完全に切除することが重要になる。そのため今回も、手術中にわきの下のリンパ節の組織を採取して検査したが、幸い、転移はなし。体への負担を最小限にして手術を終えることができた。退院後は再発予防のために、放射線治療とホルモン療法を行う予定だが、「早期に手術できたので、再発のリスクはかなり少ないだろう」というのが、和田の見立てである。

乳がんは女性のがんでも多い病気ですが、日本人女性の11人に1人は乳がんを患うといわれている。しかし、乳がんは、すべてのがんのなかで比較的治療後の見通しが良

好で、治療の目安とされる5年生存率も90%以上と高く、治る可能性が高い。「近年はさまざまな有効な薬も開発され、乳がんの治療法は進化しています。当院では、常に最新の知見を取り入れ、薬物療法と手術療法、放射線療法を組み合わせ、良好な治療成績を上げています」（和田）。

たとえば、近年スタンダードになった治療法の一つに「術前薬物療法」がある。これは従来、手術後に行っていた薬物（抗がん剤・ホルモン剤）療法を手術前から行うもの。「手術前に行うことで、がんの縮小効果が図れると同時に、患者さんのがんのタイプにどの薬が効くかを見極めることができます。術後の治療計画を立てる上でも、メリットは非常に大きいのです。術前薬物療法の対象となる患者さんには、積極的に適用しています」と和田は説明する。

COLUMN

●乳がんの早期発見には、セルフチェック（自己検診）も重要だ。実際、毎年の定期検診では見つからず、検診と検診の間で見つかることもあり、こつこつ乳がんを「中間期乳がん」と呼ぶ。

●セルフチェックのポイントは、乳房を鏡で見て、乳房の変形や左右差、ただれなどがないか観察すること。さらに、乳房をくまなく触って、しこり、ひきつれ、えくぼのような凹みがないかをチェックする。セルフチェックを毎月1度行う習慣にすれば、乳房の変化に敏感に気づくことができる。



BACKSTAGE

長期にわたるがん治療を生活圏で受けられる体制づくり。

●乳がんの治療は、手術後も長期にわたり続く。再発予防のため、放射線治療や、全身に行きわたる薬物療法(抗がん剤治療・ホルモン療法・分子標的治療)を続けるからだ。また、場合によっては乳房再建術を行うこともある。

●西尾市民病院ではこうした術後の治療に対し、医師、看護師、放射線技師、薬剤師がチームで取り組んでいる。遠方まで行かなくても、最新で安全な治療を地域で受けられるメリットは計り知れない。



CHAPTER 02 早期発見を進めるために、最新の検査設備を導入。

乳がん治療で最も大切なことは、何だろう。「それは早期発見に尽きます」と和田は言う。「乳がんの代表的な症状は、しこりです。しこりがなくて、皮膚の凹み、乳頭からの分泌やたれを引き起こすこともあります。ただ、早期の乳がんは痛みを伴うことがないので、少し違和感があってもそのままにする方もいます。もう少し早く来院していただけたら、確実にがんを発見できたのに、と悔しい思いをすることもあります」。

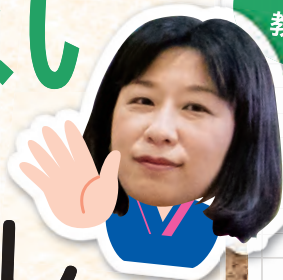
冒頭の女性の乳がん発見に力を発揮したのが、3Dマンモグラフィ撮影だ。同院では令和元年8月、最新の3Dマンモグラフィ(※)に更新し、万全の検診体制を整えた。「乳がんを早期発見するには、定期的な検診が重要です。当院では、女性医師と女性スタッフによる乳がんドックを行っていただきますので、ぜひそういう機会を利用してほしいですね。実際、検査の結果、がんじゃない

ことも非常に多いんですが、それはそれで、本当に喜ばしいことです。がんじゃなくて良かった、と安心するためにも、乳がん検診をお勧めします」(和田)。

また、たとえば、乳がんが見つかったとしても、同院では関係各科が緊密に連携し、最善の治療を提供している。「検査を行う放射線技師、がんの確定診断を行う病理診断科の医師、放射線治療に関わる放射線科の医師、乳房の再建術を担当する形成外科の医師、がんに精通した認定看護師、抗がん剤を扱う薬剤師などが常に意見交換しながら、治療に取り組んでいます」と和田は説明する。さらに同院では、がん療養相談看護外来も開設し、患者の相談に応える体制づくりにも力を注ぐ。「最新で安全な乳がん治療から、退院後の療養生活までずっと伴走できるのが、当院の強みです。これからもスタッフの力を合わせ、患者さんを支えていきます」と、和田は力強く語った。

※詳しくは、裏面の〈病気のおはなし〉をご覧ください。

キュア Cure 病気の おはなし



先生、
教えて！

テーマ

乳がん

女性が患うがんのなかで最も多い乳がん。「自分は大丈夫」と過信せず、乳がん検診を受けましょう。

01 乳がんをそのまま放置すると、他の臓器に転移していきます。

乳がんは、乳腺にできる悪性腫瘍です。乳腺は、母乳を作る「小葉」と、作られた母乳を運ぶ「乳管」に分かれています。乳がんの多くは乳管で発生する乳管がん、小葉から発生する乳がんは小葉がんと呼ばれます。

がん細胞が乳管や小葉の中にとどまっているものは「非浸潤がん」で、ステージ0に分類されます。乳管や小葉の外に浸潤した乳がんは「浸潤がん」で、進行度によってステージⅠ～Ⅳに分類されます。乳腺の外に広がったがん細胞は、そのまま放置すると、リンパ管や血液の流れに乗って全身に運ばれ、他の臓器に転移していきます。

02 エコー検査と3Dマンモグラフィで小さな乳がんも発見できます。

乳がんの検査は、主に3つあります。まず、視触診。乳房を見て触って、しこりや皮膚の凹み、むくみなどがないかを確認します。次に、エコー検査。この検査では、しこりを見つけます。画像の形や濃度などを見て、がんの疑いが強いかどうか見ていきます。



3つ目は、3Dマンモグラフィ（乳房X線診断）撮影です。これは乳房の断層をスライスして撮影するもので、従来の2Dマンモグラフィでは見えなかった病変も見逃さず、精緻な検査データが得られるようになりました。とくに、エコーでは見えにくい石灰化（がん細胞の壊死などにより生じるもの）の発見に威力を発揮します。これらの検査でがんの疑いが濃い場合、組織を採取して顕微鏡で観察し、確定診断します。



Message

女性医師・スタッフによる「乳がんドック」を始めました。

当院では令和元年12月から「乳がんドック」を始めました。検査内容は、視触診、エコー、3Dマンモグラフィの3つ（※）。女性にとって乳房はデリケートな部分ですが、全員女性スタッフが対応するので安心です。

まず、女性医師が問診や視触診検査を担当。続いて、検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師の資格を持つ女性技師がエコー検査、3Dマンモグラフィを担当します。

なお、3Dマンモグラフィに更新し、従来より少ない痛みで撮影できるようになりました。

※エコー検査と、乳房X線診断検査のどちらかを選ぶこともできます。



● 乳がんドック

毎週火曜日 午前9時～

<https://hospital.city.nishio.aichi.jp/outpatient/medicalexamination.php>

詳しくはこちら



療養支援 のおはなし

テーマ

がん療養相談看護外来

がんと共に生き、働く時代。
前向きに生活していけるように、
がん専門の看護師が寄り添います。

病気を治すだけ
じゃありません。



病気や生活の悩みや不安… 一人で悩まないで。

今や2人に1人が、がんにかかります。医療の進歩に伴い、がんは決して不治の病ではなく、「がんと共に生き、働く」時代になってきました。

しかし、がんの治療を続けるなかで、誰もがさまざまな悩みや不安を抱えます。たとえば、「いつか再発するのではないだろうか」「経済的に高額な治療を続けられるのだろうか」「仕事に復帰できるだろうか」「セカンドオピニオンを受けたいがどうしよう」「副作用の症状が辛い」「気持ちが落ち込んでしまう」など…。そんなとき、一人で悩まずに誰かに打ち明けることがとても大切です。当院では、がん患者さんの気持ちに寄り

添い、ご相談に応えられるよう「がん療養相談看護外来」を開設しています。

がん看護のスペシャリストが どんなご相談にもお応えします。

がん療養相談看護外来では、がん看護に精通した専門家が対応します。現在は、抗がん剤治療や副作用対策をお手伝いする「がん化学療法看護

認定看護師」2名がご相談にお応えしています。看護外来では、治療に関わる専門的なご相談はもちろん、日常生活、リハビリテーション、仕事との両立、家族との関係など、どんなご相談にもお応えします。たとえば、経済的なことでお悩みであれば、必要に応じて医療ソーシャルワーカーも加わり、一緒に問題の解決をめざしていきます。



Message

私たちが支援します



高須由江
(がん化学療法看護認定看護師)

看護外来は、がんについて気軽に話せる場所です。

私たちが、がん療養相談看護外来を始めたのは、がんという病気を話せる場所が周りになかったから。患者さんのなかには、身内にも悩みを打ち明けられない方もいらっしゃいます。そんな方に、オープンに何でも話せる場所をご用意したいと考えました。

ですから、私たちの看護外来は、とくにテーマを決めずに、お立ち寄りいただくのも大歓迎。受診は予約制ですが、ご相談は無料です。心を開いて話すだけで、前向きな気持ちになれることもあると思います。ぜひ、私たちに会いにきてください。

●がん療養相談看護外来

第3金曜日 午前9時～11時

看護外来を担う認定看護師の他にも、
多様な領域の認定看護師が活動しています。

詳しくはこちら





地域医療を支える

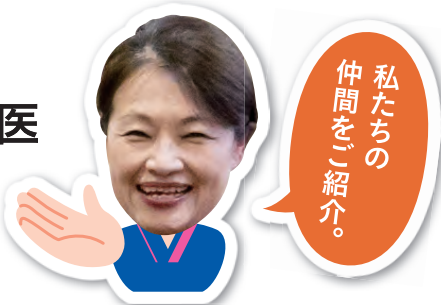
新しい力

チカラ

新人対談企画

初期臨床研修医

新人看護師



私たちの
仲間をご紹介。

医療職としての成長と、西尾市民病院という環境。



お二人は、初期研修病院※として、就職先として、なぜ西尾市民病院を選びましたか？

※医師は医学部を卒業し医師免許を取得後、2年間の初期研修が義務付けられています。

右京 研修医の数が多くないところで研修したかったんです。その分忙しいかもしれないけれど、より多くの経験ができるから、自分の専門領域を決めるにもいいかと思いましたね。

蜂須賀 真面目!(笑)

右京 救急車受け入れ台数も結構多いでしょ。おかげさまで、いろいろな症例を経験させてもらってます。蜂須賀さんは？

蜂須賀 この病院が実習病院だったんです。看護の基礎を身につけるには、ある程度知っている病院がいいかなと思いました。右京先生に比べたら、恥ずかしい理由です(笑)

右京 そんなことないですよ。早く現場に慣れることは大切なものね。順調に進めます？

蜂須賀 7～8人の患者さんを担当し、限られた時間のなかできちんとケアするのは大変。まだ先輩に頼ることが多いですね。

右京 僕も上級医にはいっぱいお世話になってますよ。でも、上級医に助けられながらも、一つひとつきちんと学ぶ、身につける。今はそこに集中しています。それができる風土、環境があることは、この病院の大きな魅力ですね。



将来はどんな医師、どんな看護師をめざしていますか？ 抱負を聞かせてください。

右京 「先生に会えて良かった」と患者さんに言われたことがあるんです。まだ一度ですが(笑)。そのときは病気を診るのではなく、その人を見ていたなと思って。この姿勢を持ち続け、信頼される医師になりたいですね。

蜂須賀 私は先を見越した看護ができる看護師になりたい。この患者さんは、病院での生活をどうしたら、元の生活に戻るか。それを常に考えられる看護師が目標ですね。

右京 この病院は、救急もやるし、超高齢者もしっかり診る。つまり、広い範囲でちゃんと地域を見つめている。ここで学べることはまだまだたくさんあるから、お互い頑張りましょう！

蜂須賀 はい！先生、最後まで真面目!(笑)



1年目に学んだことを、今年入ってくる後輩にしっかり伝えたいと言います。



1年が過ぎ、受け身ではなく、攻めの姿勢が少し出て頼もしくなりました。

初期臨床研修医(2年目)

右京大季(うきょう だいき)

愛知県知多郡武豊町出身。病院見学で、雰囲気すごくいい病院!と感動しました。

新人看護師(2年目)

蜂須賀三稀(はちすか さき)

愛知県岡崎市出身。西尾市は緑が多いし、住みよい町。西尾市大好きな看護師です。

こんな言葉知っていますか？ 地域医療の 豆知識

M A M E C H I S H I K I

テーマ 地域包括ケアシステム

今回は
〈地域包括ケアシステム〉
について学びましょう。



超高齢社会を支える

「地域包括ケアシステム」の実現には、
私たち自身の意識も大切です。

少子超高齢化が叫ばれる私たちの国では、今、〈地域包括ケアシステム〉の構築が急務とされています。地域包括ケアシステムとは、中学校区を目安とする各地域のなかで、高齢者に対する「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が一体的に提供される仕組みのことです。目的は、歳を取っても、最期まで住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けられる社会づくり。厚生労働省では、団塊の世代が後期高齢者に達する2025年を目処としており、実際には、地域ごとに環境や資源が異なるため、国が示した指針に基づき、各都道府県や市町村が中心となり進めています。

地域包括ケアシステムで「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が一体的に提供されるといっても、支えてくれる人、財源がなくては実現できません。少子化が進むなか、どのように支援や財源を確保するのか、国としての課題はあります。それに対して私たち自身は、まず自分のことは自分で行う、自分だけで無理なら地域のなかで助け合うといった、〈自助〉〈互助〉の意識を持ち、ともに未来の社会づくりを見つけていきたいものです。

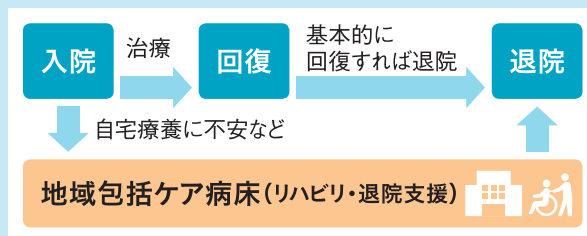
西尾市民病院では

時代の変化、地域のニーズを見つめ、地域包括ケア病床91床を稼働させています。

今日の地域医療では、以前のように病気が治るまで、急性期病院でずっと入院することが許されなくなりました。病状が落ち着いたならば、早期に退院してご自宅、あるいは地域の介護施設など、在宅で療養を続けるという形になっています。

しかし、すぐに在宅に戻るのが難しい患者さんがいらっしゃいます。そうした方のためにあるのが「地域包括ケア病床」です。ここではしばらくの間、入院を継続し、医学的管理、看護、リハビリテーションを行い、その一方で、退院の支援を推し進め、安心して在宅へお帰りいただくようにしていきます。また、在宅で療養中に急性増悪した患者さんを受け入れるのも、この病床。在宅復帰を見つめ、治療、看護、リハビリテーション、退院支援を進めていきます。

西尾市民病院では、「地域包括ケア病床」を91床有しています。急性期病院として地域を支えていた当院が、なぜ地域包括ケア病床を持ったのか。それはもちろん、市民の病院として、時代の変化、地域のニーズに的確にお応えするため。急性期医療で培った医療技術を最大限に発揮し、地域包括ケアシステムを支える病院として、地域への貢献を果たしたいと考えています。



01

令和元年度・看護研究発表会を開催

2月8日に〈看護研究発表会〉を開催しました。これは看護師がさまざまなテーマで、業務改善や看護研究に取り組むことで看護の質を高め、患者さんにより良いケアを提供することを目的としています。令和元年度は「小児科看護の手順の見直し」、「食前の手指衛生への取り組み」、「急性期病棟における早期離床に対する看護師の認識の相違」、「終末期癌看護に対する葛藤」といったテーマで発表が行われました。参加した看護職が皆、看護、患者さんへの思いを新たにすることができました。



02

ボランティアさんの活動に感謝

西尾市民病院には、多くのボランティアの方々が、院内の観葉植物の清掃、外来の手指消毒剤容器の清掃、包帯巻き、庭園管理・花づくり、演奏会や作品展の開催など、日々多様な活動で患者さんや病院スタッフをサポートし癒してくださっています。毎年3月には病院から感謝を込めてボランティアの皆さんへ感謝状をお送りしています。ボランティアに関心のある方は、下記よりお問い合わせください。現在、医療用クッションの修繕をお願いできる裁縫ボランティアさんを大募集中です。

URL <https://hospital.city.nishio.aichi.jp/recruit/>

TEL 0563-56-3171 (代)

03

看護学生のインターンシップを開催

3月2日から看護学生がインターンシップ(就業体験)に参加しています。実際の医療・看護の現場を見学、体験することで、看護師という職業への理解を深める貴重な機会です。看護師の指導のもと、患者さんの日常生活援助などを看護学生がお手伝いさせていただきます。未来の地域医療を担う看護師のたまごを温かく見守ってください。また興味のある看護学生の皆さんは、下記よりお気軽にお申し込みください。



URL <https://hospital.city.nishio.aichi.jp/recruit/>

TEL 0563-56-3171 (代)

04

形成外科で レーザー・光治療を行っています

当院の形成外科では、外見に関わる比較的簡易な手術を、外来手術室で行っています。レーザー・光治療により、できものやあざの除去などのほか、保険外(※)での美容医療も可能です。乳幼児に一部みられる血管腫には、早期に治療した方が成長後の影響が少なくなるものもあります。

令和元年10月には外来手術室の改装を行い、患者さんがリラックスして施術を受けていただけるような環境を整えています。気になる症状がある方は、当院形成外科までお問い合わせください。

※美容目的の診療以外でも、疾患によっては保険外診療となるものがあります。詳しくはお問い合わせください。

当院所有機器や
治療対象疾患に
ついてはこちら



<https://hospital.city.nishio.aichi.jp/news/detail.php?seq=61>

看護師 募集中!

新卒・既卒どちらも受け付け中です。
お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

西尾市民病院 事務部 管理課 職員担当
0563-56-3171 (内線2286)

安心して働ける
サポートがあります。



西尾市民病院

NISHIO MUNICIPAL HOSPITAL

〒445-8510 愛知県西尾市熊味町上泡原6番地

TEL 0563-56-3171 (代表) URL <https://hospital.city.nishio.aichi.jp/>



4 月号 2020 No.01

発行責任者／院長 禰宜田 政隆
発行／西尾市民病院 広報委員会
記事提供／中日新聞広告局
編集協力／プロジェクトリンク事務局
発行日／2020年4月1日

CiaO[チャオ] 特設サイト

